

安全への投資効率とは

企業が職場の健康と安全に1セント投資するごとに、その投資は2.2倍のリターンを生むとされる研究結果があります。安全基準を高めることにより、それが企業の成長を促し事業の競争力を高めることになります。持続可能性を向上させる方法を見てみましょう。

企業の安全に対するアプローチは年々進化しており、世界中の職場での事故件数は大幅に減少しています。過去15年間では、安全に関する規定はますます厳しくなりました。特に制御システムの信頼性、安全対策の不正な無効化の防止、および騒音・振動・有害物質排出の防止に関する規定は増加し、規制は厳格化しています。また機械とロボットの安全性についても、規格が厳格化されています。

ここで大切なことは、この厳格化は、労働災害が発生したことにより起こったことではないということです。労働者からのより高い要求による厳格化なのです。世界の多くの地域では、人々は高いリスクのある機械の周辺で働くことを、もはや受け入れていません。安全な労働環境の下で働くことは、人権であると考えられています。

労働環境における安全とは、人的側面と物的側面の両方が大切です。人的側面については、従業員の精神的および身体的な健康の向上と従業員の生産性の向上を通じて、企業の成功の原動力となります。

物的側面として、機械の安全性がとても重要です。Axelentではすでに設計段階で機

械保護を含めています。その後、リスク分析を実施し、機械が適用される機械指令に準拠していることを確認します。すべての生産設備は年に1回以上の安全点検が必要です。危険度の高い設備は、年に数回の検査が必要です。これを怠る企業では、労働者の大きな健康リスクとなります。多くの国では、安全対策の怠慢を防止しようと努力が行われています。1980年代後半までと比較すると、現在ではヨーロッパ全体でPL法により厳格化されています。

安全上の不備が検出された場合、現行規制を遵守する厳格な労働安全部門を持つ企業は、機械の修理や不備修復の完了まで、自ら運転を停止しています。実際は、まだこのように厳密に管理している企業は少ないのが現状です。

しかしながら、政府の検査で機械の欠陥などが検出される場合があります。その際は、まず最初に機械を停止し、主要なスイッチがロックされることとなります。企業は罰金と保険金額増額が課せられ、不備を是正しなければ操業再開できません。この対象となった企業は、事故後にはより厳格にかつ定期的に監視されることがあります。

安全な職場への手順

1. ツールと機械

最初のステップは、テスト済の安全に作業できるツールと機械を提供することです。

2. トレーニング

知識こそが、安全の鍵となります。リスクアセスメントと安全ソリューションについてスタッフを教育し、できるだけ安全で健康的な職場を作り上げるようにしましょう。Axelentのセーフティブックは有益なツールとしてお使い頂けます。

3. 環境

従業員の作業環境が安全であることを確認してください。良好な照明と換気、適切な作業服、ヘルメット、メガネ、手袋などの防護具が含まれます。

4. コントロール

すべての設備は毎年定期的な安全点検が必要です。エラーや欠陥は即座に是正しなければいけません。



EUにおける職場事故 (2017年)

- 330万以上の重大な職場事故が発生。
- 3,552件の致命的な事故、約10万人当たり2.12人の死亡事故が発生。
- 事故が最も多かった国はフランス。
- 死亡事故が最も多かった国はルーマニアで、約10万人当たり5.72人の死亡事故。
- マルタ、オランダ、キプロスでは、10万人当たり1人未満の致命的な事故が発生。
- 男性の方が女性よりも事故に巻き込まれる割合が高い
- 男性は67%、女性は33%